

日本海総合病院 心臓血管外科に通院歴のある患者さんへ

日本海総合病院では以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本機構倫理審査委員会の承認を得て行うものです。この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	当院における弓部真性大動脈瘤手術症例の手術成績や短期・中期成績について検討する
研究の実施体制	研究責任者:新井 秀佑
研究の目的	弓部大動脈瘤治療において、Frozen elephant trunk (FET)を用いたHybrid手術は一般的な術式となったが、術後のSpinal cord injury (SCI) やdistal-Stent graft-induced new entry (d-SINE)、Stent migration、Endo leak等の合併症が問題となる。当院では弓部真性瘤に対し、瘤を超えた血管での吻合を目標とした正中切開創からのConventional Total Arch Replacement (TAR)を基本戦略としている。当院における弓部真性大動脈瘤に対するConventional TARの成績を検討することを目的とする。
研究対象の方法	2014年4月から2024年9月までの期間に、弓部大動脈瘤に対し弓部置換術を施行した71例のうち、弓部真性瘤に対して手術介入した55例を対象とした。術後合併症を含めた早期成績および、中期「成績としての全生存率を後方視的に検討することを目的とする。
個人情報の取り扱い	研究に携わる者は、個人情報の取扱いに関して、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」、「個人情報の保護に関する法律」及び適用される法令、条例等を遵守する。 取り扱う情報には要配慮個人情報が含まれており、情報は紙媒体及び電子媒体で記録される。記録には患者氏名は含まれないが、研究に関する情報の公表においては、個人が特定されないように配慮する。
試料・情報の保管及び廃棄の方法	(1) 保存方法・期間 研究のために収集したデータや解析結果は、遮断されたコンピュータの外付けハードディスクで管理する。電子媒体は、研究終了後 5 年間保管する。 (2) 廃棄方法 保存期間終了後すみやかに、研究のために収集したデータや解析結果は破棄する。紙媒体は溶解あるいは細断処理し、電子媒体については再生不可能な状態に処理する。
問い合わせ先	日本海総合病院 心臓血管外科 新井 秀佑 電話 0234-26-2001(代)